

## 平成 29 年度自己点検評価結果（改善した点と改善を要する点）

学 長

## I 教育活動

## ・改善した点等

①学生のキャリア支援行事として、74 種類のセミナー・説明会・講座を開催し、延べ8,637 名が参加し、種類・参加者数ともに平成 28 年度（69 種類、7,289 名）を上回っている。

## ・改善を要する点

- ① 学部改組（平成 27 年度）前後で学部教養系/教育支援系の志願倍率（一般選抜前期）を比較すると、3.6 倍（平成 23 年度～平成 26 年度平均）から 2.6 倍（平成 27 年度～平成 30 年度平均）に低下している。
- ② 学部学校教育系において公立学校教員採用試験の受験率は 65.9%で、平成 28 年 3 月卒業者の 68.3%から 2.4 ポイント減少した。
- ③ 平成 30 年度入学者選抜の修士課程全体では、入学志願者数が平成 29 年度入学者選抜の 538 名から 497 名へと 41 名減少した。入学者が募集人員を満たしていない専攻は、特別支援教育、家政教育、社会科教育、理科教育、技術教育、美術教育、養護教育、総合教育開発専攻の 8 専攻であり、家政教育、社会科教育、技術教育、総合教育開発専攻の 4 専攻は 5 年以上連続で募集定員を満たしていない。
- ④ 教職大学院については、志願倍率が 2.6 倍から 2.1 倍へ減少した。また、派遣教員数は 17 人と平成 29 年度選抜と同数であるが、派遣元教育委員会は 6（東京都、北海道、神奈川県、横浜市、埼玉県、栃木県）から 3（東京都、埼玉県、大阪府）へ減少した。

## II 研究活動

## ・改善した点等

① 平成 29 年度科学研究費助成事業における新規採択率が全国第 4 位だった（平成 28 年度は 5 位）。また、平成 26 年度から公表されている分野別の新規採択累計数では、科学教育分野が 4 年続けて全国第 1 位となった。

## ・改善を要する点

特になし

## III 社会貢献活動

## ・改善した点等

① 平成 29 年度は、60 講座が開設され、計 1,301 名の参加があった。平成 28 年度と比較し、16 講座、198 名増加した。平成 27 年度（33 講座・738 名）と比較すると講座数で 2 倍、参加者数で 1.8 倍の増加となる。

## ・改善を要する点

特になし

## IV 国際交流活動

## ・改善した点等

- ① 大学間交流協定校からの受入学生数は 90 名であり、平成 28 年度の 75 名から 15 名増加した。派遣学生数は 44 名で、4 年ぶりに増加に転じた。
- ② 平成 29 年度の短期留学者数は 165 名であり、平成 28 年度の 93 名から 1.8 倍となった。留学先については、中国・韓国を除いたアジアへの留学が平成 28 年度の 3 名から 35 名に増加した。

## ・改善を要する点

特になし

## V 大学運営

## ・改善した点等

特になし

## ・改善を要する点

①人事凍結をしている状況下、教職員の年齢構成は各学系・センター・附属学校教員・事務職員の全てのカテゴリで上昇した。大学教員の年齢構成に偏りがあり、30 歳代の教員が少ない状況である。